

2020年3月期 第1四半期 決算の概要

2019年8月1日

日本ユニシス株式会社

前期より引き続きDX関連等のサービス拡大と、製品販売大型案件が寄与し大幅増収
増収効果から営業利益は前年同期比で倍増

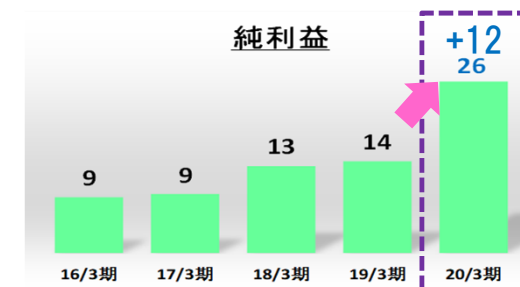
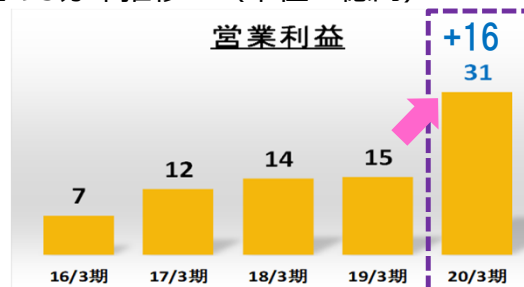
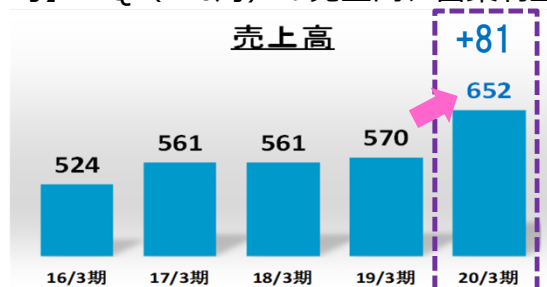
(単位：億円)

	第1四半期 (4-6月)		前年同期比 増減	
	2020/3期	2019/3期		
売上高	652	570	+81	+14.2%
売上総利益	157	140	+17	+12.4%
販管費	▲127	▲125	▲1	▲1.0%
営業利益	31	15	+16	+109.8%
(営業利益率)	(4.7%)	(2.6%)		(+2.2pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	14	+12	+87.6%
受注高	676	607	+68	+11.3%
受注残高	2,290	2,244	+46	+2.0%

<1Q決算のポイント>

- **売上高**
システムサービスおよび製品販売が牽引し大幅増収。
- **営業利益**
サービスの増収効果と生産性の向上を主因として売上総利益が増加。販管費の増加を吸収し、営業利益は前年同期比倍増。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**
営業増益に伴い前年同期比+88%増益。
- **受注高・受注残高**
受注高はシステムサービスと製品を中心に拡大。受注残高もシステムサービスでの積み上がりが大きく堅調に推移。

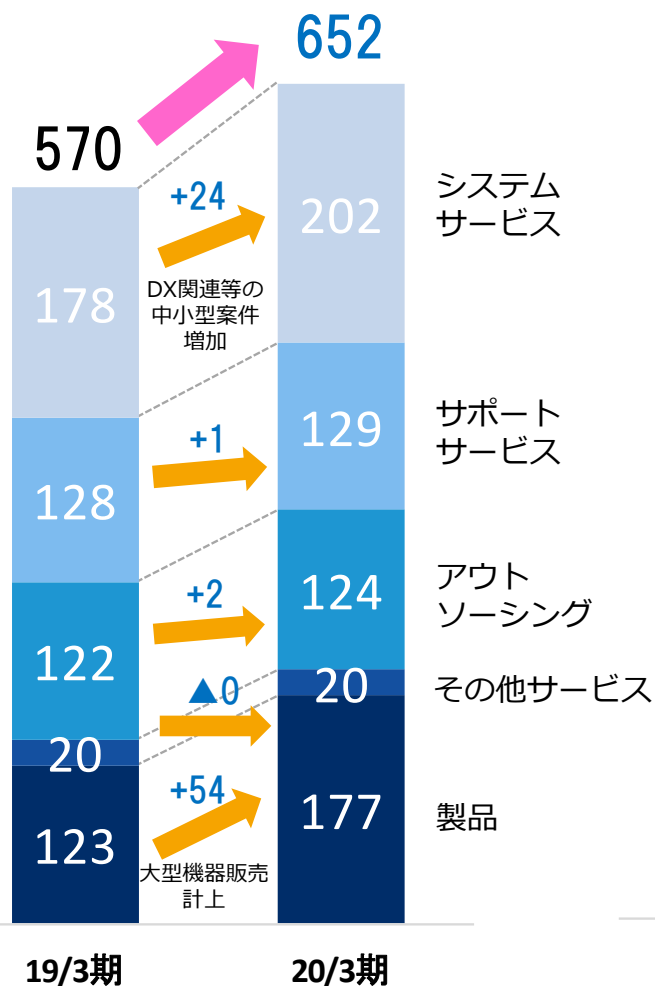
【ご参考】1Q (4-6月) の売上高、営業利益、純利益の5カ年推移 (単位：億円)



(単位：億円)

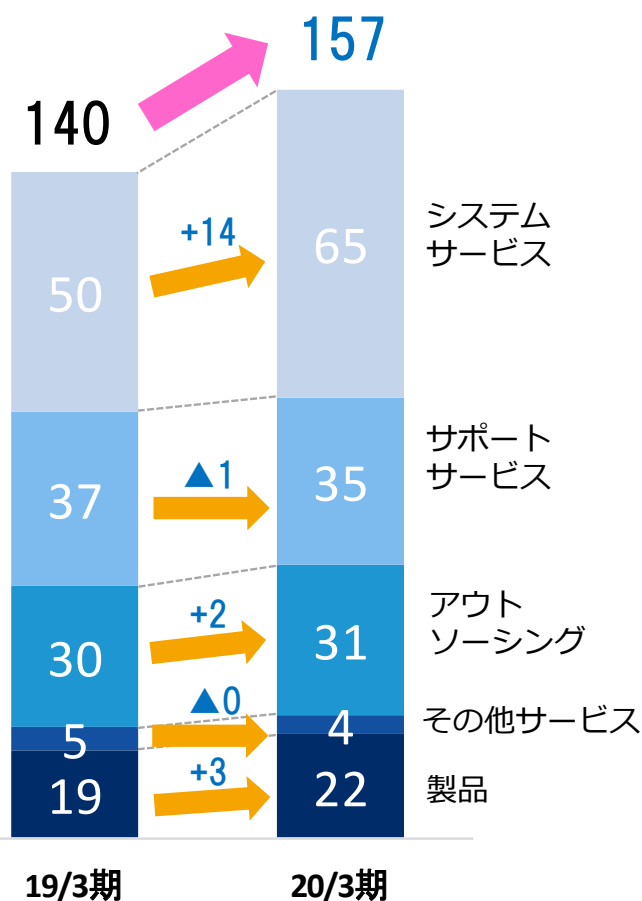
売上高

+81
(+14.2%)



売上総利益

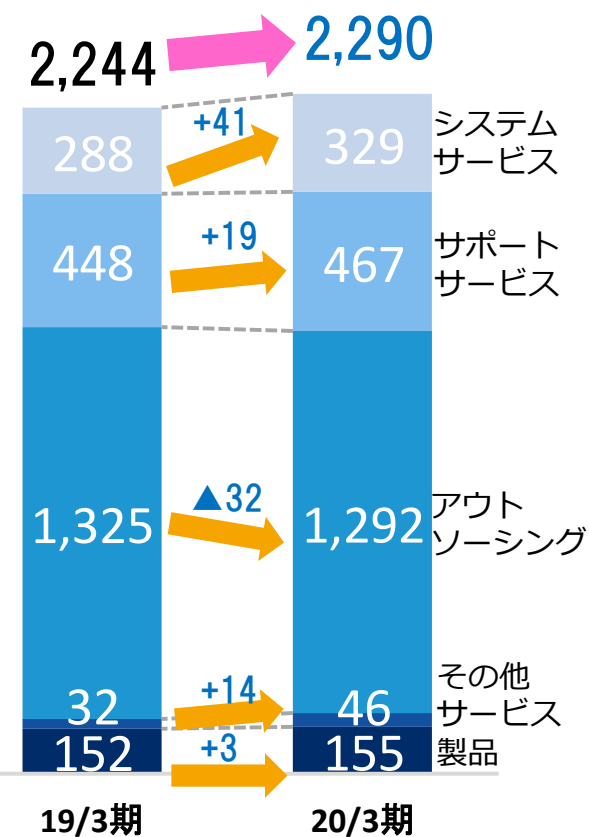
+17
(+12.4%)



【ご参考】

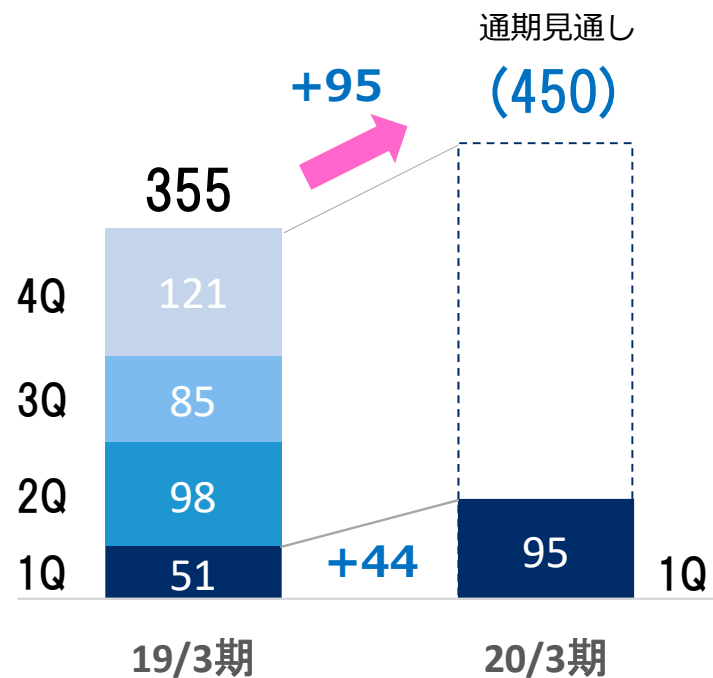
受注残高

+46
(+2.0%)



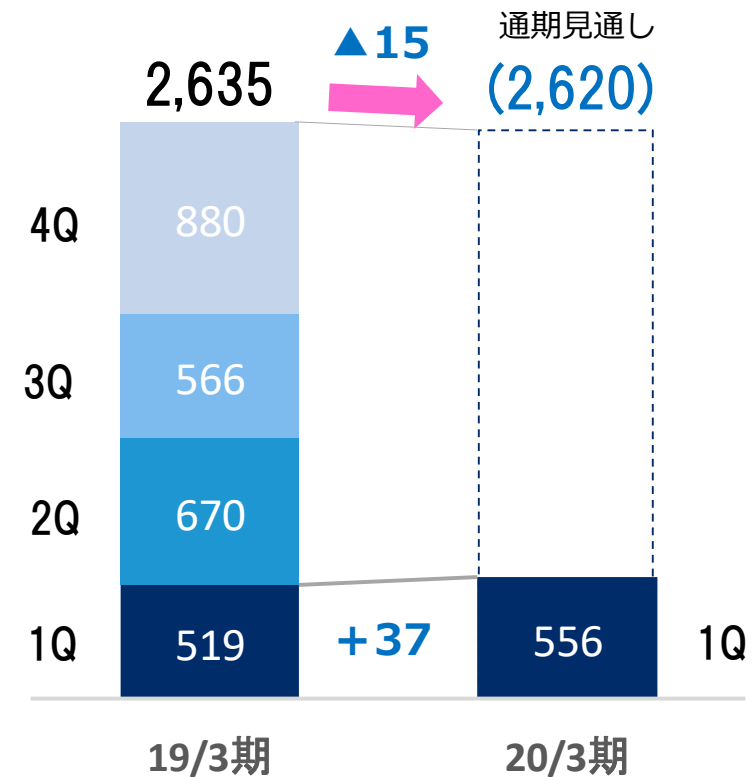
(単位：億円)

注力領域 売上高



- QR・バーコード決済手数料収入増加
- MaaSプラットフォーム利用拡大
- 前期4Qに引き続きAI関連の大型機器販売案件を計上

ICTコア領域 売上高



- BankVision®11行目テスト工程継続中
- 幅広い業種向けにシステム更改案件が堅調
- 子会社におけるシステム基盤関連機器販売が増加

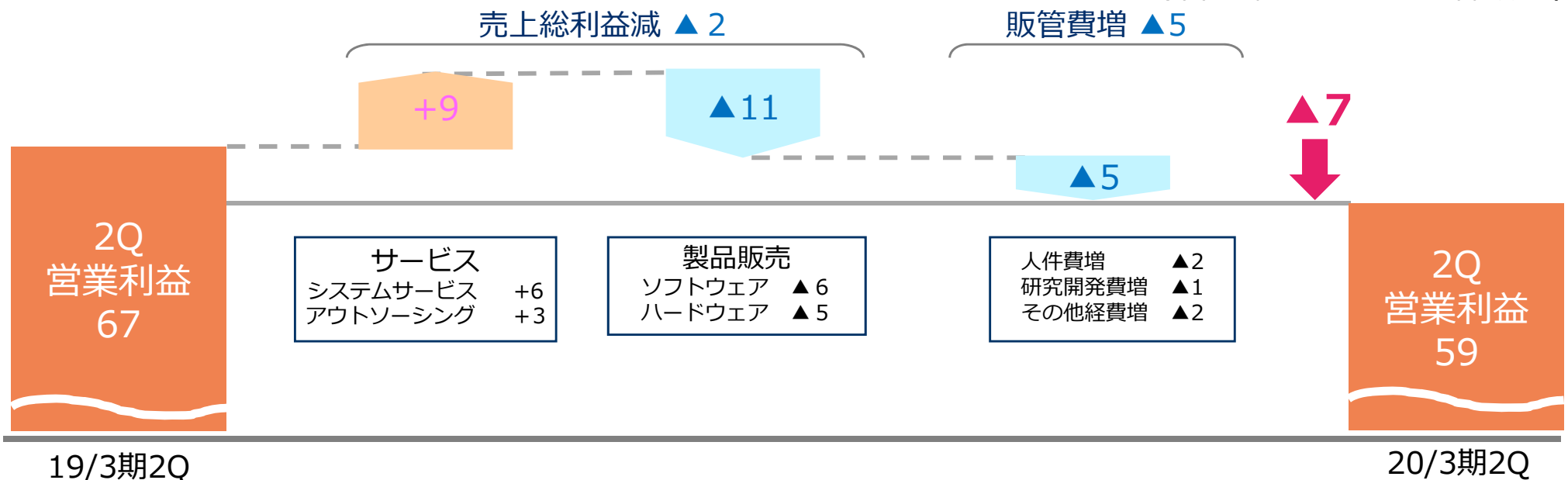
上期の売上高、営業利益、四半期純利益の予想は
公表値（5月9日）から変更なし

（単位：億円）

	20/3月期 1Q実績		20/3月期 2Q予想		20/3月期 上期予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	652	+81	718	▲49	1,370	+32
営業利益	31	+16	59	▲7	90	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	+12	39	▲9	65	+3

【2Q(7-9月) 営業利益の増減分解】

* 上期予想の内訳は補足資料をご覧ください。
（単位：億円、増減は前年同期比）



Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。